

6. 木沢棚田保全連絡協議会

棚田名	木沢の棚田
所在地	新潟県長岡市川口木沢
百選等の認可	—
棚田の概要	
保全団体	木沢棚田保全連絡協議会
設立年	2008年（平成20年）
沿革	平成20年春、高齢化の進んだ木沢集落の中で、震災からの復興を続けながら棚田を活かそう・残そうと立ちあがったのが棚田連絡協議会です。
代表者	平沢勝幸
連絡窓口	木沢ハウス TEL:0258-81-5922 〒949-7502 新潟県長岡市川口木沢430 kizawa-house@hotmail.co.jp
会員	平沢代表含む5名
主要メンバー	
拠点施設等	木沢ハウス（民泊施設）、やまぼうし（宿泊施設として改装した旧木沢小学校）
ポリシー 又は活動の方向性	高齢化の進んだ木沢集落の中で震災からの復興を続けながら、先祖から受け継いだ棚田を守り残すために都会や自然を求める住人たちと一緒に村おこしを進めていくこと。そのために、棚田オーナー制の実施により参加者との交流を深めていったり、集落内での各種イベントの開催を通じて木沢の良さ・魅力を発信することを続けていくこと。
活動状況	
運営資金	
広報ツール	HPあり。会報も発行
協力者	NPO法人とちぎボランティアネットワーク、長岡地域復興支援センター川口サテライト
市民交流制度（オーナー制度など）	2008年からオーナー制度を実施。初年度、募集人数は20組で年会費40,000円（1区画：約100㎡）。オーナー会員は月に一度木沢に来て、作業をしたりイベントで楽しんだりする。オーナー田の日常管理は地元集落5名で担当。オーナー用宿泊施設（木沢ハウス）の利用が可能。首都圏や近隣地域の親子連れはもちろん遠くは大阪からも集まり、月に1度農作業に汗を流します。棚田でのお米の栽培のほか、参加者同士と木沢の人とをつなぐミニイベントなども行われ、明るい声が田んぼに響きます。
棚田米販売	
特産品開発	特製の石窯ピザ、餅
直売所	
定期的イベント	ホテル鑑賞会6月、川口祭り7月、収穫祭10月、しび布団作り12月、雪堀ボランティア2月
地域の状況	
直接支払の状況	
地域おこしグループ等	
後継者対策	
I・U・J・Oターン	
ボランティア受入	草刈り、雪かき
行政の支援	えちご川口交流ネットREN 川口町地域復興支援センター
備考	